

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	総合音楽	学年	第3学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	Music Navigation(音楽史・楽典・ノート)

学習目標
 共通課題と個別課題の両方で授業を進め、音楽における得意分野を再発見する。また、より高度な歌唱・器楽・創作活動を行い、創造的な芸術表現をするために必要な技能を身につける。

学習方法
 少人数制を生かした一斉授業と個別指導を組み合わせで行う。
 発表を多く取り入れる。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	①	音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	
②	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図をもっている。		
③	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付け、創造的に表している。		
④	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。		

評価の観点	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
授業観察	○	○	○	
実技テスト・発表	○	○	○	
レポート提出	○	○	○	○
観点別比重	20%	30%	30%	20%

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	様々な音楽に触れる	7	歌唱	様々な楽曲に触れ、言語の違いによる歌い方の特徴などから、自身の歌い方を見つめる。(イタリア・ドイツ・日本歌曲)	①楽曲にふさわしい発声を工夫している。 ②作曲者の意図を譜面から読み解き、表現しようとしている。 ③楽譜を見て音程、リズム、フレーズ等を正確に把握し、表現することができる。	・実技テスト
		4	器楽	キーボード演奏(コード理論学習を含む)	①意欲を持って取り組んでいる。 ②音色・リズム等の設定に工夫が見られる。 ③旋律と伴奏がバランスよく演奏されている。	・コード理論学習 ・楽曲練習 ・実技テスト
	6	鑑賞	自主鑑賞 →生徒が1人ずつ選曲して解説を付けた楽曲を鑑賞し合う。	①楽曲選択・解説に積極性が見られる。 ④楽曲提供者の意図をくみ、豊かな感受性を持って鑑賞できている。	・鑑賞レポート提出 ・楽曲解説の構成	
	19	歌唱、器楽、ソルフェージュ、楽典、作曲家研究など	各自で進路または要望に合わせた学習を選択して行う。	①意欲をもって取り組んでいる。 ②個性を十分に発揮できている。 ③明確な目標設定ができている。	・記録ノート提出 ・音大受験に対する個別指導	

	音楽の効果を考える	12	鑑賞・創作	物語や場面によって、音楽がどのように効果的に使われているのか、映像資料等をもとに分析する。さらにそこから、短い物語に合わせた簡単な作曲活動を行う。	①意欲的に鑑賞し、分析をしている。 ②分析した知識を、作曲に工夫して取り入れている。 ③音階やコード理論を理解している。 ④豊かな感受性を持って鑑賞できている。	・作曲した楽曲の発表
	世界の多様な音楽について学ぶ	10	鑑賞・歌唱・器楽	映像資料や音原を参考に、ロック、ポップス、ジャズなど、それぞれの音楽の特徴を理解し、そのルーツを学ぶ。また、それぞれの特徴を生かした演奏をする。	②楽曲の構成から、自分の役割を理解し、工夫して演奏している。 ③楽曲の特徴から、音楽を構成している要素を理解し、演奏できている。 ④豊かな感受性を持って鑑賞できている。	・小テスト ・役割を分担し演奏 ・発表
	アンサンブルの楽しさを味わう	7	歌唱	少人数での合唱またはアンサンブル	①練習・準備に積極的に取り組んでいる。 ②与えられた役割を最大限に工夫しながら表現できている。 ③観客を意識した表現の技能を身に付けている。	・発表（実技テスト）
3	卒業に向けて総まとめ	15	個人発表	個別に課題を選択し、演奏会形式で発表する。	①自主的に練習を進めることができる。 ②音色やフレーズなどの表現を工夫できている。 ③音程・リズム・作曲理論等、技術面での集大成を目指す。	・全体練習 ・録音
	合計時数(50分授業)	70				